

事業コード	04030110			政策コード	04	政策名	元気な長寿社会を実現する健康・医療・福祉戦略						
事業名	元気で明るい長寿社会づくり事業			施策コード	03	施策名	高齢者や障害者等を地域で支える体制づくり						
部局名	健康福祉部	課室名	長寿社会課	指標コード	01	施策目標(指標)名	高齢者の生きがい・健康づくりの推進						
班名	調整・長寿福祉・施設班			(tel)	1361	担当課長名	佐々木 勲右工門	担当者名	佐藤 健一				
評価対象事業(計画)の内容													
1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 団塊の世代が後期高齢者となる2025年までを見据えた介護保険制度の改正に対する市町村の取組を支援するほか、増加する高齢者が元気で充実した生活ができる社会の実現が望まれているため				3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 介護保険制度の改正による新しい総合事業を平成29年度まで全ての市町村が取組めるようにする。 また、高齢者が充実した生活ができる社会の実現を目指す。  (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望									
2. 住民ニーズの状況 ニーズを把握した対象 受益者 一般県民 (時期: 年 月) ニーズの把握の方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット その他の手法 (具体的に ) ニーズの具体的な内容				4. 目的達成のための方法 事業の実施主体 県、(公財)秋田県長寿社会振興財団 事業の対象者・団体 市町村、一般県民 達成のための手段 市町村に対し研修を行う 一般県民を対象とした全国健康福祉祭への選手派遣や県でのスポーツ交流大会を開催する 一般県民を対象とした総合相談窓口を設置する  比較した代替手段及び選択した手段の有効性 市町村を対象とした研修の実施は県の役割である 全国大会への派遣は県単位による派遣である									
把握してない場合の理由及び今後の方針													
理由	国が進めている施策であるため												
今後の方針	スポーツ支援についてはニーズ調査を要する												
5. 事業の全体計画及び財源				単位(千円)									
順位	事業内訳			左の説明			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	全体(最終)計画
01	高齢者元気アップ支援事業			全国健康福祉祭への秋田県選手団派遣と県版ねりんピックの開催			18,231	18,250	18,250				
02	新しい総合事業の取組支援事業			地域資源の開発や地域のニーズと地域支援のマッチング等を行う生活支援コーディネーターの養成や介護予防サービスの充実を図る研修の開催			4,727	4,750	4,750				
03	高齢者ほっと安心相談事業			専門員による高齢者総合相談窓口の設置及び各種相談機関の相談員を対象とした相談援助技法に関する助言と指導			16,597	17,000	17,000				
財源内訳				左の説明			39,555	40,000	40,000				
国庫補助金				介護保険事業費補助金			812						
県債													
その他				高齢者の健康保持及び地域支援体制整備基金、長寿社会づくりソフト事業交付金			38,743	40,000	40,000				
一般財源							0	0	0				

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 新しい総合事業への取組市町村の増加、スポーツ参加高齢者の増加

指標	指標名	県版ねんりんピックへの参加者							指標の種類
	指標式	県版ねんりんピック参加者							成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度
	目標a		2,400	2,500	2,500	2,500			
	実績b	2,390	データ等の出典						
	東北 全国	実績報告書							

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 05月 翌々年度 月

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度
	目標a								
	実績b		データ等の出典						
	東北 全国								

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由  
 \_\_\_\_\_  
 見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)  
 \_\_\_\_\_

事業の必要性	
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性	介護保険制度の改正により早期の事業実施が必要である
住民ニーズに照らした事業の必要性	本県は高齢化率が高いことから、早期の事業実施が望まれる
事業の県関与の必要性	法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの
	市町村指導は県の役割であり、スポーツ実施についても、県を挙げて取組む姿勢が必要である

		政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
		重点事業	その他